

新技術・新工法

登録番号	24039	
新技術名	ドラゴンウォール	
副題	狭隘箇所での施工性・直壁仕様が可能なハーフプレキャスト重力式擁壁	
従来技術名	現場打ち重力式擁壁	
活用区分	—	
新技術等の区分	工法	
新技術等の分野	工程、品質・出来形、施工性、環境、県産資材活用	
NETIS番号	KK - 200063 - A	
問い合わせ先	昭和コンクリート工業（株）熊本営業所 096-383-9444	

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・プレキャスト部材と鋼材で型枠を形成し、内部に胴込めコンクリートを打設することで、最大高さ5mまでの「重力式擁壁」を短期間に構築するハーフプレキャストを使用した技術。 ・部材が軽量で多様な現場条件に対応可能。 ・鋼材長さを調整することで任意の壁面勾配を設定可能。 ・型枠工等の技能者が不要（天端・端部除く）なため、「重力式擁壁」を容易に構築できる。 				
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・部材重量が600kg以下と軽量であり「移動式クレーン仕様バックホウ等」により施工が可能。 ・場所打ち重力式擁壁に比べ工期短縮が可能。 ・各段は自立する安定構造であり、連続積み上げ後の胴込めコンクリート打設が可能。 ・特に、狭隘な現場では施工の効率化が図られる。 ・勾配0(直壁)～8分まで対応。 ・ブロック種類が少なく安定生産が可能、部材違い等のリスクを軽減。 ・場所打ち木製型枠が不要、廃棄物が削減され環境への影響が抑制される。 				
適用可能な箇所	<ol style="list-style-type: none"> 1自然条件 特になし 2現場条件 重力式擁壁の築造が可能な場所 3技術提供可能地域 全国 4関係法令等 特になし 				
施工単位等	<table border="0"> <tr> <td>新技術</td> <td>15,078,900円/延長30m(H5m)</td> </tr> <tr> <td>従来技術</td> <td>12,642,900円/延長30m(H5m)</td> </tr> </table>	新技術	15,078,900円/延長30m(H5m)	従来技術	12,642,900円/延長30m(H5m)
新技術	15,078,900円/延長30m(H5m)				
従来技術	12,642,900円/延長30m(H5m)				